



発行 西原町役場 903-01 西原町字嘉手苺112番地 電話(09894)-5-4533 印刷 (協)丸正印刷

町の世帯・人口 (昭和62年6月末現在) 世帯主 7,023世帯 人口 23,810人 男 12,220人 女 11,590人

6月の人口移動 出生 39人 死亡 1人 転入 112人 転出 112人 婚姻 8件 離婚 3件

二十世紀のまちづくりに向けて 公有水面埋立事業を検討

検討委員会委員へ委嘱状交付

本町は、現在基本構想に基づき「文教のまち西原」の建設に向け、総合的かつ計画的に諸施策を推進している状況であります。

そのような中で、国や県が進めている二十一世紀に向けての新しい海辺のまちづくり

(マリン・タウン・プロジェクト)として、親水性のある都市や潤いのある都市づくりの要請があり、本町においても与那原町、佐敷町、知念村の地域における拠点都市の形成、都市型リゾート基地の形成、

国道329号線にかわる臨海道路の整備等の広域的課題及び海浜レジャーの場、下水処理場等公共施設用地の確保、混在化した土地利用の純化、船だまりの整備等の域内的な諸課題、要請等に対処する方策として現在の土地空間を有効的に活かすとともに陸域、海岸線、海洋利用の整合性をふまえた水辺の回復と親水性のあ

ら、平安町長より二十一世紀のまちづくりに向けての公有水面埋立事業の必要性と当該委員会の重要性が述べられた。その後、委員互選により、委員長、副委員長が選出され、平安町長より公有水面埋立基本計画(案)の諮問が行われた。なお、町公有水面埋立基本計画検討委員会の委員は次のとおり。



21世紀のまちづくりで公有水面埋立基本計画(案)について説明する平安恒政町長 = 7月30日、町役場会議室にて

西原町公有水面埋立基本計画検討委員会委員名簿

Table with 3 columns: 区分, 氏名, 役職名. Lists members of the committee including academic experts, council members, and administrative staff.

◎委員長 ○副委員長

「第二回平和を考える町民の集い」(9月7日~13日) 絵画・彫刻・写真など募集 平和事業へ積極的な参加を!

町(平安恒政町長)では、昭和六十年十二月において、「非核反戦平和都市宣言」を行い、明るく住みよい平和な文教のまちとして平和事業を実施して参りましたが、今年も九月七日より十三日まで町民の反核、反戦、平和の意志を大切にする立場から、反基地反核をアピールし、平和を願い創造する、絵画・写真・彫刻などの作品を広く町民から募集し、優秀な作品を一堂に展示し全町民が平和を考える機会にするため「第二回平和を考える町民の集い」(絵画・彫刻展と平和コンサート)を開催いたします。

- 一、募集対象: 町内小・中・高校生、大学一般
二、募集期間: 昭和62年8月31日~9月5日まで
三、作品受付場所: 小中高校生は各学校、大学生は町役場総務課
四、審査・表彰: 小、中、高、一般(大学含)別に審査し、優秀作品応募者に対し、賞状並びに賞品を授与する。
五、お問い合わせ: 町役場総務課 5150-11

海邦国体100日前記念パレード 町民運動の輪を広げ成功させよう

「全町民参加の国体を目指し町民運動の一層の盛り上げを図ろう」と第42回国体育大会町実行委員会(平安恒政会長)では、七月十八日(土)



国体100日前パレードを行い町民運動の盛り上げを図る = 7月18日、県道38号線

午後三時より、中部製糖構内から町民体育館までの県道38号線(約2.3km)を「海邦国体100日前記念」の街頭パレードを行った。これは、本町で開催される海邦国体、成年男子バスケットボール競技大会開催100日前を記念し、町民運動の輪を広げ、海邦国体を成功させようという目的で開催され、町内各種団体をはじめ約五百人余が参加。記念パレードに先立ち中部製糖構内では、記念式典が行われ、町内小学校一年生から四年生、100名による子どもエイサー、国体婦人集団演技に出演する町内婦人十五名の国体音頭の紹介の後、親泊輝武町実行委員会副会長の開会のことば、平安恒政町実行委員会会長あいさつ、棚原盛光国体事務局主幹の経過報告、呉屋良一町民運動専門委員会委員長の町民を代表しての決意表明、小川良夫町実施部長の閉会のことばを受けた。パレードは、西原高校吹奏楽部を先頭に、町内各種団体が続き、最後尾は西原中学校吹奏楽部によって文字通り、鳴り物入りで町民への国体開催100日前をアピールした。



# 熱気の中で「町長と語る婦人の集い」

## 町政に「婦人の声」を生かそう

「町長と語る婦人の集い」が、七月七日（火）午後二時より、町社会福祉センターにおいて、町（平安恒政町長）と町教育委員会（福福恭助教育長の共催で開催された。

これは、平安町政の対話行政の一環として行われたもので、町行政に婦人の積極的な



「町長と語る婦人の集い」の様子  
：7月7日、町社会福祉センター

「生の声」を反映させ、よりよいまちづくりを推進していくことということで、今回は、はじめて実現したものだ。

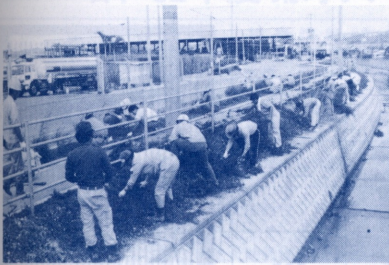
集いには、町側より、平安町長、小川助役、翁長収入役をはじめ、与那嶺町教育委員長、玉那嶺町婦人会長はじめ町婦人会役員や各区支部から支部長や副支部長ら約五十人が参加、熱心に町長との懇談を行った。

集いでは、小川町助役による開会のあいさつの後、平安町長による昭和六十二年度の重点施策などの説明とあいさつを受け、その後、住み良いまちづくりに向けての婦人の要望や意見などが活発に出された。

「集い」の中で出された主な意見、要望は、①就労婦人の増加に伴う児童保育の設置②国体に向けての環境美化問題③社会教育への児童生徒の参加④町民いこいの場の設定⑤排水関係の消毒⑥公園等のパトロール⑦生活改善推進問題⑧青少年健全育成問題などであった。これに対し町長の方から、婦人の地位向上、婦人会の地域活動の活発化の為の行政の側の努力が表明され、同時に、文教の町西原づくりの上で婦人の皆さんの力が欠かせないことの重要性を強調、いろいろな面での協力をお願いし、初の意義深い「町長と語る婦人の集い」となった。

# 道路排水愛護に500人余が参加

## 第6回町道路排水愛護デー



道路、排水愛護で清掃作業を行う  
＝7月30日、産業通り

町（平安恒政町長）では、全ての町民、事業所がそれぞれの地域の環境美化に関心をもち、「道路排水愛護の心」を高めようとして七月三十日午前九時より、第六回町道路排水愛護デーを設定し町内主要五カ所（産業通り、小波津川、西原海浜、幸地川、町運動公園進入路及び駐車場）を中心に、草刈りや清掃を実施した。

今回の道路排水愛護デーは今年海邦国体が開催されることもあり、本町での成年男子バスケットボール競技会場となる町民体育館周辺道路も含

**西原町**  
62年海邦国体  
きらめく太陽 ひろがる友情  
開催まで  
**76日**  
バスケットボール競技  
(成年男子)

# 住み良いまちづくりを進め

## 平安町長、委嘱状交付(町都計審議委員)

住みよいまちづくりを進めている町（平安恒政町長）では、町都市計画審議委員の任期満了に伴い、去る七日八日午後、町役場において、同審議委員の新しい十名の委員に平安町より委嘱状が交付された。

同審議委員は、町都市計画について、審議し、意見を述べ本町の目指す、平和で明るい豊かな文教のまち西原づくりを推進する重要な委員である。

なお、今回、委嘱された委員は次の通り。



住みよいまちづくり推進で挨拶す  
平安町長＝7月8日町役場会議室

【学識経験者】  
平敷静男、与儀栄、伊波彌三治、城間期一  
【議会議員】  
新川喜男、前里光信、大城盛孝、与那城長助  
【町役場】  
小川良夫、大城助徳(敬省略)

# 9月13日は農業委員選挙

町選挙管理委員会は昭和六十二年九月三十日任期満了にともなう西原町農業委員会委員選挙を次の通り執行することを決定しました。

- 一、投票日  
昭和六十二年九月十三日  
午前七時から午後四時迄
- 二、開票日(即日開票)  
投票当日午後五時より
- 三、告示日  
昭和六十二年九月八日
- 四、投票所  
西原町中央公民館ホールのみを用いる。
- 五、選挙による委員定数  
十六名

昭和六十二年一月一日を基準として申告され、三月三十一日に確定した選挙人名簿を用いる。

従って、申告しなかった方はもちろん、登録された方も、その後転出した方は投票することはできません。

◎不在者投票について  
九月八日から九月十二日までの間、午前八時三〇分から午後五時まで、不在者投票をすることが出来る。

◎その他  
不在者投票の理由、在宅投票、代理投票については他の選挙と変わらないので、選挙に問い合わせて下さい。

電話五二一〇一

# 青少年を明るく強く育てよう

## 第七回町青少協総決起大会

七月十一日(土)午後二時より、町中央公民館において町青少年健全育成協議会(会長平安恒政)主催、第七回西原町青少年健全育成町民総決起大会が開催された。

町民一人ひとりが青少年の健全育成に理解と意識を高め青少年にとっての有害な環境を積極的に排除し、地域での育成活動の充実強化を図り、次代を担う青少年が希望と自信をもって明るく強く育つことを願い、町全民の力で明るい文教のまちづくりを推進し



第7回町青少協町民総決起大会に300  
人余が参加＝7月11日、町中央公民館

大会には、町内二十四協力団体をはじめとする関係者約三百人が参加。

大会では、与那嶺浩副会長(町教育委員長)の開会のあいさつ後、平安恒政会長(町長)あいさつ、青少年健全育成成功者・団体および善行青少年の表彰、小・中・高校生を代表しての意見発表、親泊輝武町議会議長や崎浜浦添警察副署長激励のあいさつを受け、中村哲雄琉球大学教育学部教授の講演、津嘉山寛喜西中学校長による大会宣言決議などが行われた。

あいさつの中で、平安会長は、「本町は、小学校から大学まで、教育環境の整った恵まれた地域である。文教のまち西原のよさを生かし、二十一世紀に向け、心身ともに健康やかな青少年の健全育成のため町民が連帯して頑張りましょう。」と述べた。

# 募金総額七九万九、五一六円

## 在亜沖縄県人福祉財団へ

在アルゼンチン沖縄県人福祉財団(佐久川フミ会長)では、アルゼンチンに在住する沖縄県人の高齢者や寝たきり老人、県人社会の子弟の教育福祉を推進するため、アルゼンチンをはじめ、沖縄県民からの募金活動を進めてまいりました。

当地、西原町におきましても町民の暖かいご理解とご協力により七九万九、五一六円の募金協力があり在亜沖縄県人福祉財団の福祉活動に役立てられることになりました。

町民の暖かいご理解とご協力に深く感謝いたします。



男子・西原、女子・坂田が優勝、全国大会へ

女子・西原は九州大会へ出場  
全日本バレー小学生県大会

ライオンカップ第七回全日本バレーボール小学生大会が七月十二日(日)、町民体育館で、男女準決勝、決勝戦が行われ、本町の男子、西原小、女子・坂田チームが見事、アベック優勝を達成。男子の西原は三年ぶり三度目、女子の坂田は、結成わずか二年足らずで今回の栄冠を手中にした。



ねばり強さを発揮し、三年ぶり、三度目の優勝を果たした男子西原小バレークラブのメンバー



結成わずか2年足らずで見事全国大会出場のキップを手にした女子坂田クラブのメンバー

児童扶養手当受給者の皆さん

提出期間 8月11日～8月25日まで

児童扶養手当、特別児童扶養手当の受給者の皆さんは、毎年一回現況届を提出することになっております。この現況届は、証書の切り替えと、受給者の前年度の所得状況、養育状況について確認するためのものです。この現況届を提出しないとひきつづいて支給を受ける資格があつても八月分以後の手当の支払いを受けることができません。提出して下さいますので、必ず提出して下さい。

- ▼受付期間 八月十一日～二十五日
- ▼受付時間 午前九時～午後四時(土曜日は午前中)
- ▼受付場所 町役場福祉課 ※詳しいことは福祉課へ
- 電話五―五〇一一(内線)
- 十四(特別)児童扶養手当係

町更生保護婦人会総会  
地域から犯罪・非行を防止しよう

犯罪や非行のない明るい社会をつくらうとする婦人ボランティア団体である町更生保護婦人会(玉城俊子会長)の昭和六十二年総会が、七月十三日(月)午後二時より町中央公民館で開催された。総会には、小川町助役、与那嶺町教育委員長はじめ、那覇保護観察所長、県更生保護婦人会連盟会長ら来賓のほか会員三十余人が参加した。総会では、昭和六十一年度

会員拡大と交流深める  
農業青年ふれあいスポーツ大会

七月十日(金)午後三時より、南西石油野球場において町農業青年クラブ(平良文男会長)主催による「農業青年ふれあいスポーツ大会」が開催された。これは、町内の農業青年会員の拡大と情報交換、親睦を深めることを目的に開かれたもので、町役場、町農業協同組合、普及所など五チームが参加、関係者五十余人が野球を通して交流を深めた。また、スポーツ大会終了後、町農協集荷場へ場所を移し、懇談会を催し、親睦を深めた。



農業青年会員がふれあいスポーツ大会 = 7月10日、南西石油野球場

昭和62年度農業青年講座日程表

月日(曜日)	時間	講義内容	講師
8月18日(火)	PM 8:00~10:00	農業生産と土壌病害	営農指導課
8月20日(木)	PM 8:00~10:00	伝染と非伝染病害の見分け方	金城 米男
8月27日(木)	PM 8:00~10:00	害虫の発生環境、作付体型と害虫発生	宮竹 貴久
8月30日(月)	PM 3:00~5:00	線虫と産地移動	園芸支場長
9月3日(木)	PM 8:00~10:00	作物生理	伊芸 安正
9月10日(木)	PM 3:00~5:00	農作業環境と健康	村濱 幸子
	PM 8:00~10:00	生け花の実演と討議及び、普及員青年クラブ合同観月会	
9月17日(木)	PM 3:00~5:00	農業経営	砂川 光弘

◎会場は中部普及所会議室 詳しくは、中部農業普及所 ☎09897(3)5202

昭和62年度入国警備官を募集

法務省福岡入国管理局那覇支局では、外国人の出入国や在留の管理の職務を通じ国の安全と国民生活の安定、経済文化・社会の発展の一翼を担う昭和六十二年入国警備官を左記により募集しています。国際化時代の中で、世界と日本を結ぶ重要な仕事にあなとも応募してみませんか。

一、受験資格  
昭和39年4月2日～昭和49年4月1日生まれ(高校卒業程度)

二、受付期間  
昭和62年8月26日～9月8日まで

三、第一次試験  
昭和62年10月18日(日)

四、問い合わせ先  
法務省福岡入国管理局那覇支局  
〒900 那覇市樋川1-15-15  
☎0988-314185  
57

農業青年講座を開催

中部農業普及所(知念正雄所長)では、昭和六十二年農業青年講座を開催し、農業青年クラブ員や農業に関心のある青年を広く募集しております。なお、講座の日程は次の通りとなっております。

国民健康保険税第2期分の納期限は8月31日まで  
(第1期分未納の方は早目に納めましょう)



# 「行方不明者をさがす相談所」

## 浦添警察署内に相談所開設

身元不明の死体は、昭和四七年五月から昭和六二年五月までの間、県内では八一体、金国では三万一千九百九十九体に上っています。

また、家出人の未発見は県内では三五六名となっています。そのため、身元不明死体の身元確認の強化、家出人、特に、凶悪犯罪の被害者となつておそれのある特異家出人の発見、保護の徹底を期することを目的として浦添警察署内に「行方不明者をさがす相談所」を開設しますのでお知らせいたします。

浦添警察署(刑事課、防犯少年課) 電話 0988-7911110  
内線 234・251

# がんの発生率を高める喫煙習慣

## 喫煙習慣

### 急増している肺がんの死亡率

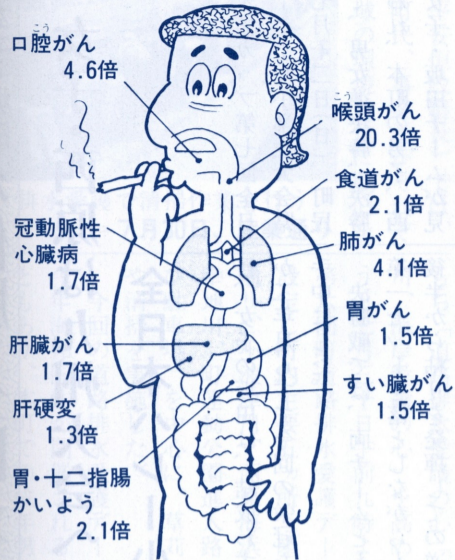
《九月はがん征圧月間です》

肺がんの原因はいろいろありますが、なかでも喫煙との関係については多くの報告があり、いま改めてたばこが問題になっています。たばこが肺がんの関与は、喫煙量が多いほど、また、喫煙開始年齢が若いほど、がんの発生率が高まるといわれています。

例えば、たばこを吸う人が肺がんで死亡する確率は、吸わない人の四・一倍(図参照)になるというデータがでています。また、一日五十本以上吸う人は、その確率が八・六倍に上がり、それ以上吸う人はさらに死亡率が高くなるといわれています。



### ●非喫煙者と比較した喫煙者の死亡率



図でみられるように、喫煙は肺がんだけでなく、さまざまながんにも影響を及ぼしています。がんの発生原因が十分明らかでなく、完全といえる治療方法がない現在、喫煙の習慣を改めることは重要な予防方法の一つといえるでしょう。

また、がん検診による早期発見・早期治療は、最も有効な予防方法の一つですので、積極的に受診するようにしましょう。

# フオート・アイ



7月26日(日)町内では数ヶ字で綱曳きが催された



全日本バレーボール小学生大会でベスト4、九州大会へ出場する西原小学校女子バレークラブ



7月30日(木)、河川・海岸愛護で西原海浜を清掃



7月8日(水)、坂田小学校1年父母の会では学校給食の試食会

## NHK学園の通信講座で学習を!

NHK学園では、生涯学習講座の春の受講生と高等学校の生徒を募集しています。

▽生涯学習講座(通信講座)

教養と趣味を深めるための書道、硬筆、俳句、短歌、囲碁など三十七講座です。

申込受付 八月十五日～十月十五日

▽海外在住者コース(通信講座)

海外在住の社会人、青少年が「生涯学習講座」▽高校の教養コース▽を通信講座で学習します。申込受付 八月十五日からです。

☆詳しい案内書をご希望の方は、お近くのNHKまたは一八六 東京都国立市富士見台二一三六NHK学園八E六十一係に、購座名およびあなたの郵便番号、住所、氏名、電話番号をハガキに記入してご請求ください。電話による受け付けもしています。電話番号は〇四二五―七二―三一五―一です。案内書は無料です。

# 海邦国体成功に役立てて

## 南西石油株が100万円

七月三日(金)午後、南西石油株式会社(橋田辰夫代表取締役社長)が本町を訪れ、「復帰十五周年、全国を一巡する記念すべき海邦国体成功贈呈式では、橋田南西石油株式会社社長より平安町長へ寄付金が手渡され、平安町長は、「文教のまちにふさわしい海邦国体の成功のため、有効に活用したい」とお礼を述べた。



橋田辰夫南西石油(株)社長より100万円が平安町長に寄贈=7月3日、町役場にて

## 第91期青年隊員を募集

一、趣旨  
機械技術者として、社会の中堅青年として、農業自営や海外へ移住しようとする青年達を進め、知識と技術を習得させ、地域社会に役立つ青年を養成する。

二、応募資格  
(一)義務教育を終了した満25歳までの独身男子  
(二)心身健全で共同生活を守りうる者。

三、訓練期間  
昭和62年10月1日～昭和63年3月18日まで

四、応募締切日  
昭和62年8月25日(火)まで

※なお、詳しくは、沖縄産業開発青年協会(☎0988-)

## 寄付金

▽ハワイ在住の崎原盛秀、光子さん(旧崎原部落出身)より町社協へ一〇万円  
▽字小波津六九番地の小波津武さん85歳を記念し、町老人クラブ連合会へ五万円

## 香典返し

▽字兼久159-2番地の石原昌則さん故父石原昌英氏の香典返しとして町社協へ10万円



まなぶ町民・きょうういく広場

文部大臣賞(小鍋さん)を受賞

石川さんも通信教育奨励賞

文部大臣賞・通信教育奨励賞、おめでとございます。

昭和六十一年度に町中央公民館(稲福恭助館長)主催、ペン習字講座を受講、文部省の通信教育制度におけるペン習字基礎講座課程において、小鍋玉子さん(字我謝74)が沖縄県では初の文部大臣賞を受賞、また、石川マリ子さん(字翁長92の63)が通信教育奨励賞を受賞、関係者を喜ばせている。この二人は、生涯学習の場である、町中央公民館の主催するペン習字講座に積

極的に参加、多忙な生活の中に一定の学習時間を設け、公民館に集う仲間達と共に、根気強く学習する模範的な家庭婦人。

現在も、ペン習字サークルの仲間達と共に、玉城賢二先生指導のもと、学習の場である町中央公民館に足をはこんでいる。

文部大臣賞を受賞した小鍋さんは、「一緒に、学習する仲間がいたので、最後まで頑張れました。受賞できたのは、玉城先生の指導と仲間の皆さんのおかげです。」と喜びを述べた。

町民の学習、交流、いこいの場として広く町民に親しまれている町中央公民館の講座受講生の中から、今回のような素晴らしい町民が誕生し、公民館関係者にとっては最高のプレゼントを受けた様子。今後、町民が公民館活動に理解を示し、積極的に参加し自らの学習を深め、仲間を増やし、花開く文教のまち西原をめざし、頑張られることを期待したい。



文部大臣賞受賞の小鍋さん(中央)、通信教育奨励賞の石川さん(左側)、喜ぶ玉城賢二先生とサークルの皆さん



町学推協地域部会が教育講演会 = 7月21日、町中央公民館

「子どもの学力を高めるには…」

町学推協地域部会が講演会開催

七月二十一日(火)午後八時、町中央公民館において、町学推協(与那嶺浩会長)、町教育委員会(稲福恭助町教育長)

主催による「教育講演会」が開催された。

今回の講演会は、町学推協地域部会(上亀直一部会長)が中心となり開催されたもので、地域部会関係者約六十人が参加し、真剣に受講した。

講演は、大城栄康先生(那覇西高等学校教諭)による、「子どもの学力を高めるには、父母や地域はどうすればよいか」という演題で行われ、沖縄の子ども達の学力状況を資料に基づき詳しく説明し、父母

地域、学校が子ども達の学力向上に向け、何をしなければならぬか、又、自分の子どもが勉強を好きになるようにするには、父母は何をすればよいのかなどについてユーモアを交えながら興味深く講演、どの参加者も真剣に耳を傾け、聴き入っていた。

講演終了後には、質疑時間も設けられ、有意義な講演会となった。



子ども達のため正しい家庭教育のあり方などを家庭教育学級で学ぶ

正しい家庭教育など学ぶ 小・中学校家庭教育学級

町教育委員会(稲福恭助町教育長)では、町内小・中学校共催により、家庭教育学級を開催している。

これは、子どもをもつ親が学習する機会を設け、親として、自らを高め、正しい家庭教育のあり方を学び、子供の健全育成に役立てようという

役割、家庭教育のあり方、性教育、子どものしつけなど多種多様である。

めまぐるしく変化する社会の中で、子どもを持つ親が、子供の健全育成のため、学校や家庭、地域で、「学、ぶ」という姿勢に拍手を送りたい。

がんばれ、父さん、母さん 健やかな子供たちの成長を願



プール開放に向け指導者講習会 7月27日から一カ月開放

町教育委員会(稲福恭助町教育長)では、夏休みプール開放に向け、町内の子ども会やスポーツ少年団の指導者を対象に、水泳指導者講習会を七月十五日(水)～二十四日(金)の日程で開催した。

本町でのプール開放は、西原中学校と西原小学校の二校期間が、七月二十七日から八月二十七日までの一カ月間。

プール開放指導者講習会を受講した指導者が引率した団体を中心に実施される予定。

プール開放については、町教育委員会(町民体育館)までお問い合わせ下さい。



対象に、水泳指導者講習会を七月十五日(水)～二十四日(金)の日程で開催した。

「働きながら勉学を」

サンケイ新聞奨学生募集

サンケイ新聞社では、両親に負担をかけず、自分の力で進学しようとする青年達に勉強の道を開くため昭和六十二年度サンケイ新聞奨学生を募集しております。

大阪、神戸、京都、奈良の大学、専門学校、予備校等へ通学を希望する二十二才以下の方は左記によりお問合せ下さい。

■問い合わせ・申し込み先 〒500 大阪市北区梅田二丁目四番九号 目四番九号

サンケイ新聞大阪本社内 サンケイ新聞奨学会 ☎〇六(三四三)一二二二 内線四五七―三番

大城栄一委員十年表彰される

町教育委員の大城栄一先生が、全国教育委員連合会より教育委員十年の功績で表彰を受けられました。

大城先生は、昭和五十二年より町教育委員として活躍、現在も、町教育委員として町の教育行政の発展のため、ご活躍中であります。



町教育委員 大城栄一先生



